

山加積地区の主な提言等と進捗状況

提言等の項目	H24秋に開催した「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
水道管	年次計画に基づき更新していくとのことだが、どのように順番付けされ、また、優先されることはあるのか？10年ほど前から赤い錆で水が濁り、その都度洗浄してもらうが、きれいな状態はしばらくしか持たない。また、2年ほど前から同じような場所で年に数回水道管の漏水があり、その都度補修されるが水道管自体が古く既に限界が来ているのでは？	老朽化した水道管は市内全域にわたっており、原則古いものから順番に更新していくことにしております。神田橋付近の水道管は末端になり水道水の循環がないので2カ月に1回は末端のバルブを開いて洗管しています。該当の水道本管は、古い管ではありますが塩化ビニール管であり、付近を調査しましたが赤サビはみられませんでした。漏水の件については、原因や補修状況を担当に確認してみます。神田橋付近の水道管は、現在の計画の中で更新の対象にはなっておりませんが、年次計画を確認し早期の対応が取れるのか確認してみます。
サル被害	山加積地区でサルが増えてきている。市でいろいろと対策は講じてはいるが、追い払いだけでは効果がない。個体数を調査し駆除するなど重点的な対策をして欲しい。	県全体として個体数が一定数を超えた場合は捕獲します。過去に発信器を付けて調査しておりましたが、調査のためのサルを捕まえるのも大変で調査も困難な状況です。連絡があれば、市職員が捕獲隊とともに出勤し追い払いを行っております。動物を駆除することは難しいため、駆除ではなく捕獲や追い払いの対応となっております。個体数の把握についても県と方策を検討いたします。
有害鳥獣	山加積地区でも鉄砲を持っている人が少なくなってきた。自衛のためにも鉄砲を持つ人を増やすなど何らかの対策を考えていかなければならない。どのような基準があるのか教えていただきたい。	県自然保護課に確認いたします。
イノシシ対策	東福寺の宮の上の田んぼにイノシシが入った。米に臭いがついてお金にならないと聞いている。被害が拡大すれば耕作者がいなくなる。イノシシの対策も検討していただきたい。	農作物への被害が拡大しないよう追い払いや捕獲に努めます。
不水掛遺跡公園展示館	現在開かずの間になっている。子供たちは授業で必ず縄文・弥生時代の勉強をするので、できるだけ早く改修し公開して欲しい。また、取り壊された竪穴式住居の案内板がそのままになっている。	展示館についてはアスベストが使用されている恐れがあったことから、全ての展示物を施設から撤去して調査をしております。アスベストが使用されていない施設であったと聞いておりますが、再度調査結果を確認し、公開できるように努めたいと考えております。竪穴式住居跡についても復活させたいと考えております。
農道の市道格上げ	和光保育園の前が道幅も狭く上り坂であるため交通安全上よくない。特に雪が積もるとすれ違いができず度々事故もある。地区公民館もあるので200m程の農道を市道に格上げし拡幅工事や除雪をして欲しい。	市道認定基準に合わないため市道認定は困難であると考えます。
土砂災害特別警戒区域の指定	小森町内は県から土砂災害警戒区域に指定されており、住宅の新築や改修に規制がかかっている。指定区域に住宅が建てられないのであれば部落が崩壊していく。何か補助制度はないのか。	昨年、県が土砂災害危険箇所警戒区域を公表しており、この公表に基づき市では危険箇所をより詳細に区分します。急傾斜地指定されている危険区域は対策工事が概ね完了しております。特別警戒区域に指定された場合の新築、増改築については建築確認の際に外壁等の補強や門や柵により土砂に対する安全性確保の確認をしますので、現在の場所に住宅が建てられない訳ではございませんが、建築に対する補助はございません。県に要望があったことを伝えます。
市制60周年記念事業	上市町史や舟橋村史を作成している。滑川市史の編さんの計画はありますか？	電子版市勢要覧の企画はありますが、市史を発行するような計画はございません。市史の編さんは膨大な時間と手間が掛かるので非常に難しいと考えています。
浄化槽検査	自主的に行っている浄化槽検査をした後また国の基準で法定検査(浄化槽法定検査第11条検査)に同じ業者が来る。二重に検査をしているのか矛盾を感じる。	市では行っていないため実態について調べてみます。
防災ラジオ	入荷が遅れていると聞いているが、いつ頃になるのか。追加申込みは可能か？	遅くなりましたが、既に申し込みいただいているご家庭には12月25日頃にはお届けできる見込みです。追加申込みは総務課に問い合わせてください。出来る限り対応したいと考えております。

山加積地区の主な提言等と進捗状況

提言等の項目	H24秋に開催した「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
観光客の誘致	北陸新幹線は黒部市と富山市に駅ができるため滑川市は素通りしていくのではと危惧している。新幹線開業に向け県外の観光客を呼び込む秘策や滑川市の観光の展望をお聞かせ願いたい。	現在も東京や大阪で誘致活動を行っていますが、新幹線の開業に向け広域的な観光ルートに滑川の観光を折り込むことが一つの方策と考えております。ほたるいか海上観光は短期間であるため、観光の拠点となるほたるいかミュージアムをはじめ既存の施設の充実を図っていかなくてはならないと考えています。また、氷見と滑川を観光船で結ぶ「富山湾海上観光」の社会実験を行っています。これは氷見からの観光客を呼び込むことや、氷見や能登への観光の拠点となり得るのではと考えており、県外の観光客に立山黒部アルペンルートだけでなく新たな観光の提案ができるのではないかと考えています。また、宿泊施設が足りないことや観光船の所有や維持管理についても検討していかなければならない課題であると考えております。
東福寺野自然公園の案内板	スーパー農道は多くの観光バスが往来する。スーパー農道の魚津側からの案内板はガードレールの影や雑草で分かりにくく、上市側からには案内板がない。道路案内の標識に自然公園の案内を追加すれば経費が少ないのでは？合わせてパークゴルフ場についても案内すべき。	現地を確認したところ、高速道路出口には案内板がありましたが、スーパー農道の沿線には1つだけ小さい案内板がございました。ご提言を参考に今後検討したいと考えております。
東福寺野自然公園駐車場	駐車場の白線の間隔が昔のままで狭い。駐車台数が少なくなっても安全に乗り降りできる駐車場にして欲しい。	現在の駐車場は旧態依然のもので2.5メートルの間隔です。近年の駐車場では両側に乗り降りできるスペースがとってあり、今後検討したいと考えています。